ユーザーマニュアル

デジタルフォトフレーム

PF830

TS2GPF830B

TS2GPF830W

Version 1.5

目次

はじめに |

トランセンドの**PF830 デジタルフォトフレーム**をご購入いただき誠にありがとうございます。この製品はUSBメモリやメモリカード、内蔵メモリを利用して画像の表示、動画や音楽の再生ができます。本体背面にあるメニューボタンまたはリモコンから簡単に操作でき、USBケーブルでコンピュータに接続できます。更に、自動で画像の向きを認識し回転させるセンサーと、お気に入りの画像、動画、音楽ファイルをたくさん保存できる2GBの内蔵メモリを搭載しています。ご使用の前にこのマニュアルを参照ください。

パッケージ内容 |

フォトフレームのパッケージには以下が同梱されています。

- フォトフレーム
- リモコン(電池付属)
- 卓上スタンド
- 電源アダプタ
- USB ケーブル
- ユーザーマニュアル CD
- クイック操作ガイド
- Warranty Card (保証書)

特色 |

- 8 インチ(4:3)の高解像度カラーTFT 液晶パネル
- ステレオスピーカー搭載
- バックグランドミュージック(音楽ファイル)を再生しながらの画像閲覧が可能
- USB メモリとメモリカード(SD/SDHC/MMC/CF/microSD/M2/MS/MS PRO/MS Duo/MS PRO Duo/MS PRO-HG Duo)に対応

  *USB メモリの同時利用について

  製品の仕様として PC と接続する際は、USB メモリを同時に利用する事が出来ません。PC と接続する際は USB メモリをはずしてからご利用いただくようお願い致します。
- メディアなしでも利用可能な 2GB の内蔵メモリ
- フルモーションビデオ再生に対応(Motion-JPEG のみ)
- 画面に表示されるインターフェイスも切り換わる縦横認識センサー(AOS 機能)
- Hi-Speed USB 2.0 規格に完全準拠し、USB 1.1 規格にも対応
- USB 接続による PC とのファイル交換
- 複数の画像をワンステップで内蔵メモリに転送可能
- 様々な画像閲覧機能(スライドショー、サムネイル[一覧]、静止画、ズームイン)
- 画像に合わせたフレームテーマやアニメーションが設定可能
- イベントリマインダー
- 時計、アラーム、カレンダー機能
- 自動パワーオン/オフとスリープタイマー
- お気に入りの音楽(MP3)にカスタマイズ可能なアラームクロック
- 画像の表示カラーを調節できるカラーモード

システム動作環境

フォトフレームをコンピュータに接続するのに必要な環境です。

- 100V~240V の電源出力(電源アダプタを接続するのに必要)
- USB ポート搭載のデスクトップまたはノートブックコンピュータ
- 以下のオペレーションシステムのうちいずれか
  - Windows® 2000
  - Windows® XP
  - Windows Vista®
  - Windows® 7
  - Mac® OS 10.0 以降
  - Linux® Kernel 2.4 以降

対応フォーマット

	ファイル種類	詳細
1.	画像	DSC JPEG (最大 9000 x 6750)
2.	動画	Motion JPEG (AVI、MOV; 最大 720x576 @ 30FPS)
3	音楽	MP3 (32K~320Kbps)、WMA (32~192Kbps、DRM 非対応)、WAV (PCM & ADPCM)

※ 上記に記載されているフォーマットに該当するすべてのファイルの再生を保証するものではございません。

ご使用する前に

以下の安全のガイドラインにしたがってご使用ください。

通常の使用

- 屋外で使用しないでください。
- 温度環境の厳しい場所で本製品を使用・保管しないでください。
- 水や他の液体が本製品にかからないようにしてください。
- 強い磁力を発生する場所や振動を受ける場所で本製品を使用しないでください。
- 本製品への電源供給には付属の電源アダプタを使用してください。別のアダプタの使用は発火や爆発を起こす原因になることがあります。
- フォトフレームのメモリカードスロットやスピーカー穴などをふさがないようにしてください。
- 本製品を長期間使用しない場合は事故防止のため、本体より電源アダプタを取り外してください。
- 聴覚を守るために音楽プレーヤーの音量を 80 デシベル以下にして、長時間のご使用は避けてください。

お手入れ

- スクリーンの扱いには十分注意してください。強い力で押したりしないようにしてください。
- スクリーンは乾いた柔らかい布を使用し、カメラのレンズを掃除するように優しく拭くようにしてください。

データのバックアップ

- トランセンドはデータ損失や損傷には一切の責任を負いません。
  コンピュータやストレージメディアにフォトフレームで使用するメモリカードや USB メモリのバックアップをとることをお勧めします。また、本体内蔵メモリ内のデータにつきましても、定期的にバックアップをとることをお勧めします。

フォトフレームで高速データ転送を利用するには、コンピュータの USB ドライバが Hi-Speed USB 2.0 仕様に対応している必要があります。USB ドライバの情報についてはご使用のコンピュータ、またはマザーボードのマニュアルを参照ください。

各部名称と基本操作 |

A	液晶パネル
B	ミニ **USB** ポート**(PC** 接続**)**
C	**SD/SDHC/ MMC** スロット
D	**CF** スロット
E	**microSD/M2** スロット
F	**MS/MS Duo/PRO/HG** スロット
G	電源入力ジャック
H	スピーカー
I	**USB** ポート**(USB** メモリ接続**)**
J	電源**/**メニューボタン
K	**OK** ボタン
L	ナビゲーションボタン

M	オプションボタン
N	音量調節ボタン
O	セキュリティロック用コネクタ
P	スタンドソケット

注記: フォトフレームは複数のメモリカードの同時読み出しに対応していますが、microSD/M2 スロット(E)と MS/MS Duo/PRO/HG スロット(F)は同時に使用できません。

設定方法

1. 卓上スタンドをフォトフレーム背面のスタンドソケットに挿し込み、時計回りに回転させます。(下図参照)

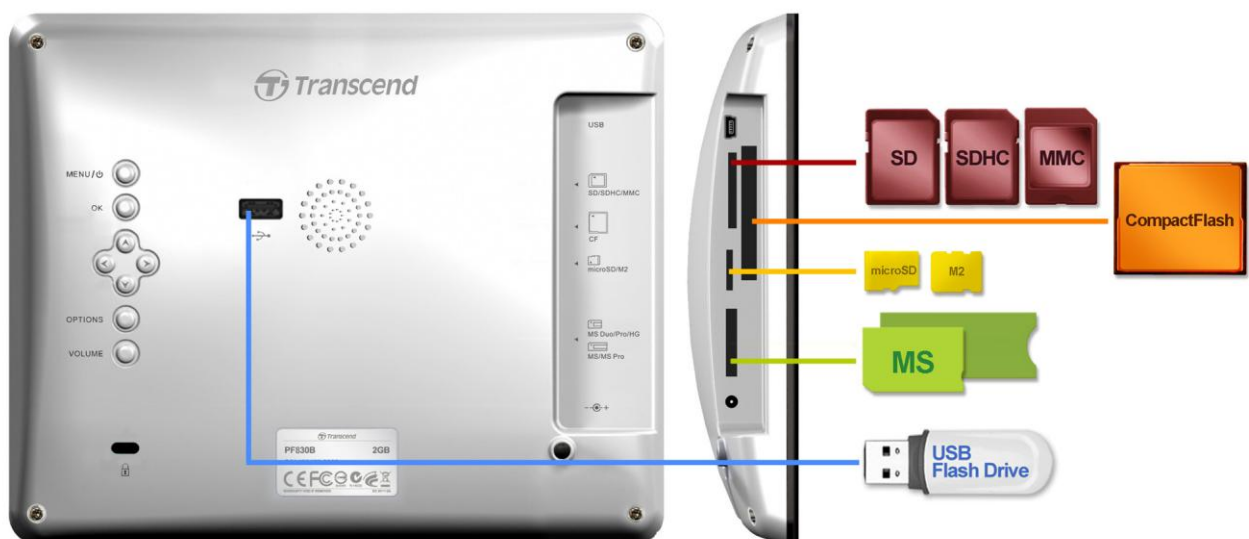
2. スタンドを取り付けたらフォトフレームを縦向きまたは横向きに置いてください。
3. 付属の電源アダプタケーブルをフォトフレームの電源入力ジャックに取り付けます。
4. 電源アダプタをコンセントに接続します。

5. フォトフレームの電源は自動的にオンになります。フォトフレームに電源アダプタをすでに接続している場合は、背面の電源ボタンを押すか、リモコンの ⏻ ボタンを押して電源をオンにします。
6. 卓上スタンドを取り外すには、反時計回りに回転させます。(下図参照)

縦置きモードと横置きモードの切り換え

フォトフレームは縦置きまたは横置きで設置できます。フォトフレームの設置向きが変わると AOS 機能により画面上に表示されるインターフェイスの向きが設置向きに合わせて自動的に切り換わります。本体側で操作する場合、操作する方向キーも変わります。

メモリカード/USB メモリの接続

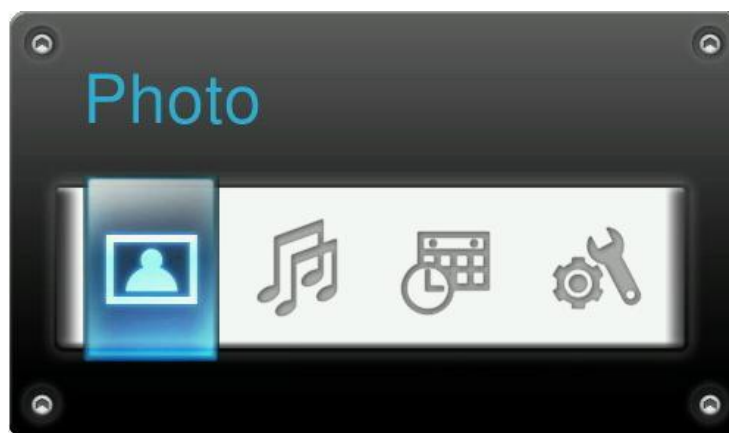
1. メモリカードや USB メモリはフォトフレームの対応するカードスロットまたは USB ポートに挿入します。
2. メモリカード/USB メモリを取り付けると、フォトフレームは自動的にメモリカード/USB メモリに保存されているすべての対応する画像をスライドショーで表示します。
3. メモリカード/USB メモリを取り外すと、フォトフレームの画面はフォトビューモードーに戻ります。
   注記: メモリカード/USB メモリのファイルを内蔵メモリにコピーしている場合(お気に入りに保存中)はメモリカード/USB メモリを取り外さないでください。

スピーカー

フォトフレームにはスピーカーが内蔵されており、スライドショーを見ながら音楽を楽しんだり、動画を再生することができます。

ナビゲーションボタン

フォトフレームの背面には8つのナビゲーションボタンがあり、メニューの閲覧、ファイルの選択、各機能へのアクセスが行えます。

クイックメニュー

クイックメニューは音楽、カレンダー、設定メニューに移動するのに便利です。

1. 本体背面の MENU/⏻ ボタンまたはリモコンの ボタンを押してクイックメニューを開きます。
2. </> ボタンでお好みのモードを選択し、OK ボタンを押して移動します。

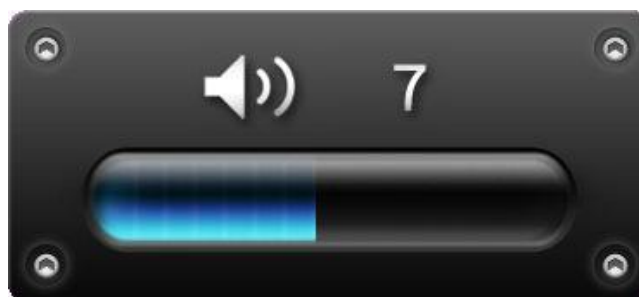
3. 音楽/カレンダー/設定ウィンドウが開いている場合、フォトモードを選択すると閉じることができます。
4. クイックメニューを閉じる場合は OK ボタンまたは ボタンを押します。

オプションメニュー

オプションメニューは使用中のモードで利用可能な機能にアクセスします。

1. 本体背面の OPTIONS ボタンまたはリモコンの ボタンを押してオプションウィンドウを開きます。
2. /// ボタンを押してオプションを選択し、OK ボタンを押すと画面右側のサブメニューへ移動します。
3. 別のオプションを選択する場合は ボタンを押して設定メニューに戻ります。/ ボタンでオプションを選択し、 ボタンを押すとサブメニューへ移動します。
4. /// ボタンを押してサブメニューオプションを選択し、OK ボタンを押して詳細設定画面に移動または設定を行います。
5. オプションウィンドウを閉じる場合は OPTIONS ボタンまたは ボタンを押します。

音量の調節

音量調節ボタンで音楽再生の音量を調節します。

1. 本体背面の VOLUME ボタンまたはリモコンの / ボタンを押すと音量調節ウィンドウが開きます。
2. /ボタンを押して音量を調節し、OK ボタンを押して設定します。
3. VOLUME ボタンを押すか数秒間操作をしないで放置するとウィンドウは非表示になります。

リモコン

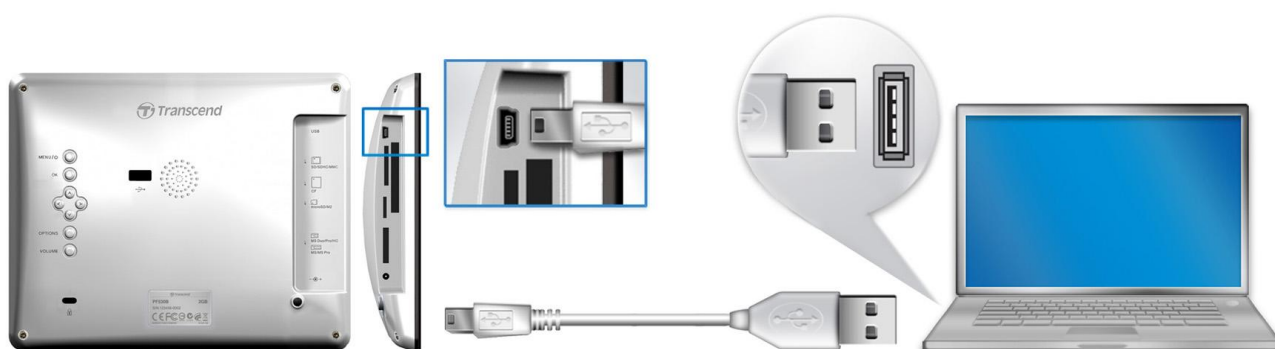
フォトフレームにはコンパクトで使い易いリモコンを付属しており、本体背面のナビゲーションボタンまたはリモコンで操作することができます。リモコンを使用する場合、フォトフレームとリモコンの間に障害物がないことを確認し、フォトフレームの正面からリモコン操作を行うようにしてください。各アイコンの機能説明はクイック操作ガイドとユーザーマニュアルを参照してください。ユーザーマニュアルとクイック操作ガイドではリモコンボタンをアイコン (例:)で表示しています。

- **メニュー: 音楽/カレンダー/設定メニュー**に移動するボタンです。
- **音楽:** 音楽プレーヤーの表示/非表示を設定します。
- **カレンダー:** カレンダーの表示/非表示を設定します。
- **設定:** 設定メニューを開く/閉じる。
- **一覧表示:** サムネイル(一覧)モードに移動します。
- **フォトビュー:** フォトビューモードに移動します。
- **スライドショー:** スライドショーモードに移動します。
- **選択:** 複数の画像を選択するサムネイル(一覧)モードに移動します。
- OK **:** 閲覧するファイルや実行する機能を決定します。
- **オプション:** 現在のモードで利用可能な機能を表示します。
- **次へ/戻る:** 前/次のページを表示します。
- **:** 音楽再生で利用できる音楽ファイルを表示/非表示します。
- **追加/削除:** 現在表示/再生している画像、音楽を内蔵メモリに保存または内蔵メモリから削除します。
- **お気に入り:** 内蔵メモリ(お気に入り)に保存されているコンテンツを表示します。
- **:** 音楽ファイルの再生、一時停止を行います。
- **:** 前/次の音楽/動画ファイルに移動します。

- ：音量(アップ/ダウン/ミュート)を調節します。
- ：音楽/動画ファイルのリピートモードを切り換えます。
- **回転・ズーム:** フォトビューモードで画像の回転やズームを行います。
- **バックライト:** スクリーンの明るさを調節します。
- **スリープ:** フォトフレームを自動的にシャットダウンするスリープタイマーを有効にします。

コンピュータへの接続｜

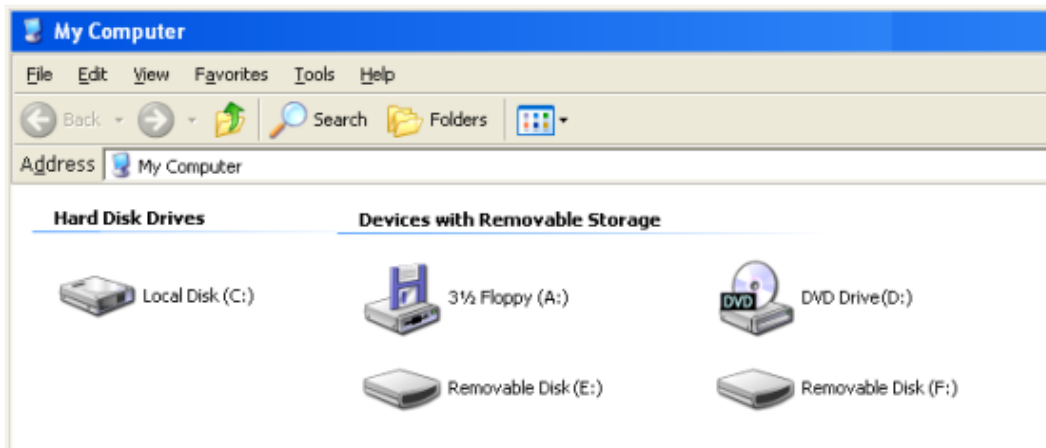
画像ファイルや音楽ファイルをフォトフレームとコンピュータ間で転送する場合は付属の USB ケーブルを使用してフォトフレームをコンピュータの USB ポートに接続します。

1. フォトフレームの電源をオンにします。
2. USB ケーブルのミニ USB 端子をフォトフレームの背面にあるミニ USB ポートに接続します。

3. USB 端子をコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。

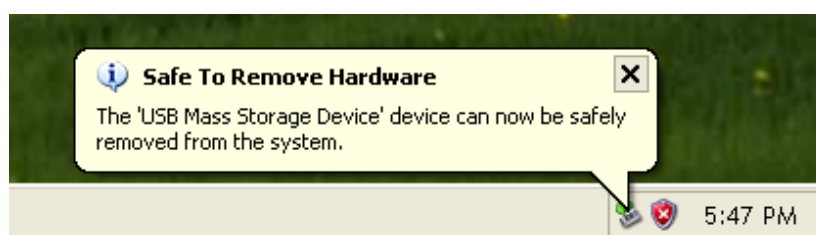
注意!　コンピュータに接続する場合は十分な電力供給を行うためにフォトフレームに電源アダプタを接続してください。

Windows® 2000/XP/Vista/7™への接続

ドライバは必要ありません。これらの OS 上ではフォトフレームはデフォルトでサポートされています。利用可能な USB ポートに接続するだけで、リムーバブルディスクが割り当てられ、マイコンピュータでドライブ番号が確認できます。また、Windows のシステムトレイにハードウェアアイコン が表示されます。

これでフォトフレームは外付けハードドライブのようにデータのアップロード/ダウンロードを行うことができます。マイコンピュータにはドライブ番号が割り当てられたフォトフレームのカードスロットと内蔵メモリのドライブが表示されます。データはドラッグ&ドロップで対応するリムーバブルディスクに転送できます。

*リムーバブルディスクアイコン(例: Removable Disk [E:], [F:])

Windows®からのフォトフレームの正しい取り外し方

1. システムトレイのハードウェアアイコン をクリックします。
2. ポップアップウィンドウ(**Safely Remove Hardware/ハードウェアの安全な取り外し)**が表示されます。ウィンドウをクリックして続けます。
3. **"The 'USB Mass Storage Device' device can now be safely removed from the system. (USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます)"**というメッセージボックスが現れます。フォトフレームを取り外してください。

Mac® OS 10.0 以降への接続

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側で自動認識します。(USB ドライバや OS のアップデートが必要な場合があります。)

Mac® OS からのフォトフレームの正しい取り外し方

フォトフレームのディスクアイコンをドラッグ&ドロップでゴミ箱に入れてください。それから USB ポートからフォトフレームを外してください。

Linux® Kernel 2.4 以降への接続

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートにフォトフレームを接続します。

1. まず、フォトフレームのディレクトリーを作成します。

   例: mkdir /mnt / Photo Frame

2. フォトフレームをマウントします。

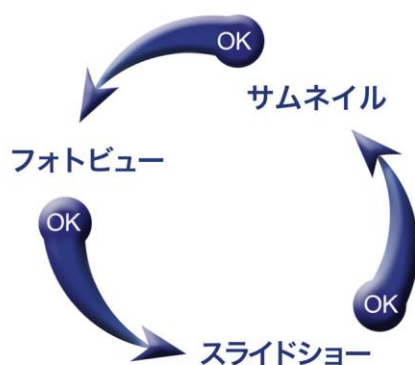
   例: mount –a –t msdos /dev/sda1 /mnt / Photo Frame

Linux®からのフォトフレームの正しい取り外し方

umount /mnt/ Photo Frame を実行してアンマウントを行います。それから USB ポートからフォトフレームを外してください。

1. **注意!**　データの損傷を防ぐために、コンピュータからフォトフレームを取り外す場合は必ず上記手順に従ってください。
2. フォトフレームをコンピュータに接続中はファイルの転送のみが行えます。フォトフレームを操作することはできません。画像の閲覧や音楽/動画を再生する場合はフォトフレームをコンピュータから取り外してください。
3. フォトフレームのミニUSBポートを使用してコンピュータと接続している間はフォトフレームの USB ポートに USB メモリを接続しても動作しません。
4. コンピュータでフォトフレームをフォーマットしないでください。

フォト

サムネイル(一覧)、**フォトビュー**、**スライドショー**の 3 つのモードが利用できます。これらのモードは本体背面の OK ボタンまたはリモコンの / / ボタンで切り換えできます。

サムネイル(一覧)モード

サムネイル(一覧)モードでは利用しているメディア(メモリカード/USB メモリ)に保存されている表示可能な画像を一覧で表示します。1 ページには 20 枚のプレビュー画像が表示されます。また、ファイル名や解像度などの情報も表示します。

1. / / / ボタンを押して表示するファイル/フォルダを選択し、OK ボタンを押します。
2. 上の階層フォルダに移動する場合はスクリーンの左上にあるアイコン を選択し、OK ボタンを押します。

ファイル名　　解像度　　ページ番号/ページ数

フォルダ名

オプション

お気に入りの追加/削除 ( ): 使用メディアがメモリカードまたは USB メモリの場合､サムネイルビューワーで選択されている画像をフォトフレームの内蔵メモリにコピーします。内蔵メモリから画像を削除する場合は閲覧元に“My Favorites (お気に入り)”を選択し、削除するサムネイル画像を選んで、“Remove from my favorites (お気に入りから削除)”を選択します。

スライドショー ( ): スライドショーモードに移動します。

フォトビュー ( ): フォトビューモードに移動します。

整列順: 日付順またはファイル名順にファイルを並べ替えます。

- **日付順:** ファイルを日付順に並べます。
- **ファイル名順:** ファイルをファイル名順に並べます。

フォトリピートモード: / ボタンを押した場合に表示される画像順を設定します。

- **ノーマル:** すべての画像を順番に表示します。
- **ランダム再生:** すべての画像をランダムに表示します。
- **フォルダ再生:** フォルダ内の画像を順番に表示します。
- **フォルダ内のファイルをランダム再生:** フォルダ内の画像をランダムに表示します。

動画リピートモード (MODE): 動画再生のリピートモードを設定します。

- **ノーマル:** すべての動画ファイルを再生します。
- **1 ファイルリピート:** 選択したファイルをリピート再生します。
- **全ファイルリピート:** すべての動画ファイルをリピート再生します。
- **フォルダリピート:** フォルダ内の動画ファイルをリピート再生します。

バックグランドミュージック: 画像閲覧中のバックグランドミュージックのオン/オフを設定します。

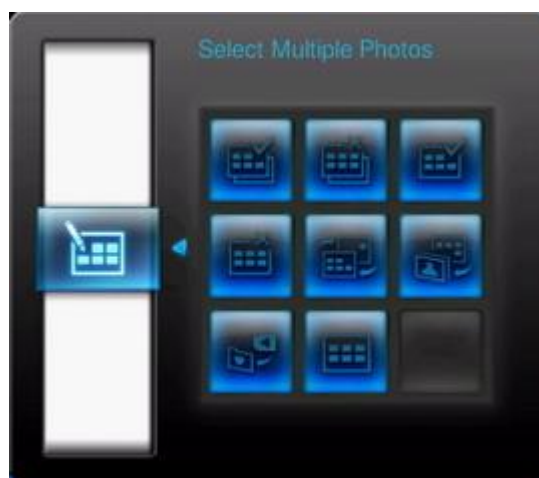
- **オン:** MP3 ファイルの再生が設定できます。フォトフレームは自動的に表示画像を保存しているメディアから音楽ファイルを検索して再生します。再生設定(リピートなど)は音楽モードと同じになります。⏮/⏭ ボタンを押すと、前/次のトラックに移動できます。選択されたメディアに音楽ファイルがない場合、音楽は再生されません。
- **オフ:** バックグランドミュージックをオフにします。

複数の画像を選択: 複数の画像を一度にフォトフレームの内蔵メモリにコピーできます。ページごとに 20 枚のサムネイル画像にチェックボックスが表示されます。UP/DOWN/LEFT/RIGHT ボタンで移動し、OK ボタンを押して各画像にチェックを入れたり、外したりします。上の階層フォルダに移動する場合はスクリーンの左上にあるアイコン を選択し、OK ボタンを押します。

ファイル名　解像度　ページ番号/ページ数

フォルダ名

チェックボックス

複数画像の選択オプション

- **すべて選択:** 現在利用しているメディアに保存されているすべての画像を選択します。
- **選択を解除:** 現在利用しているメディアに保存されているすべての画像の選択を解除します。
- **表示ページの画像をすべて選択:** 現在のページに表示されているすべての画像を選択します。

- **表示ページの画像選択を解除:** 現在のページに表示されているすべての画像の選択を解除します。
- **選択範囲を反転:** すべての選択されている画像の選択を解除し、選択されていない画像を選択します。
- **選択した画像でスライドショー:** 選択した画像でスライドショーを開始します。
- **お気に入りの追加 / 削除 ( ):** 選択した画像をフォトフレームの内蔵メモリにコピーまたは削除します。
  注記: “Remove”オプションはメディアにお気に入り(内蔵メモリ)が設定されている場合のみ表示されます。

メディアの選択: 利用するメディアを切り換えることができます。 / ボタンで利用するメディアを選択して OK ボタンを押します。

動画再生

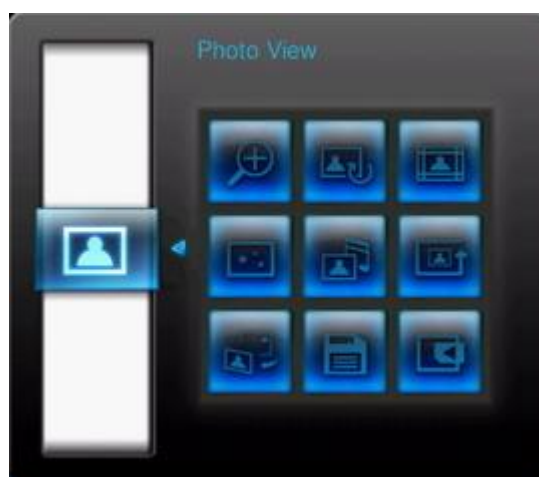
動画を再生するにはサムネイル(一覧)モードで動画ファイルを選択し、 OK ボタンを押します。

1. 本体背面の OK ボタンまたはリモコンの ボタンを押すとファイルを一時停止/再生します。
2. ボタンを押すと前の動画ファイルに戻り、 ボタンを押すと次の動画ファイルに進みます。
3. ボタンを押すと動画再生を停止し、サムネイル(一覧)モードに戻ります。
4. MODE ボタンを押すと動画リピートモードの設定に移動できます。

注記: 動画のリピートモードは、動画再生を停止し、[オプション]メニューの[動画リピートモード]で確認してください。

■ フォトビューモード

フォトビューモードでは1枚の画像の閲覧、ズーム、回転を行うことができます。◁/▷ ボタンを押すと、次または前の利用可能な画像を表示します。

オプション

スライドショー ( ): スライドショーモードに移動します。

サムネイル(一覧) ( ): サムネイル(一覧)モードに移動します。

ズーム: サブメニューで x1/x2/x4 のズームモードが選択できます。また、リモコンの ボタンを押すと自動的に表示中の画像のズームインを行います。

回転: サブメニューで時計回りに画像を 90 度/180 度/270 度回転させることができます。また、リモコンの ボタンを使用した場合、ボタンを押すたびに表示中の画像を 90 度回転させることができます。(回転機能はズーム機能[x2, x4]を利用時は無効です。X1 のズーム時のみ利用できます。)

テーマ: サブメニューでスライドショーモードまたはフォトビューモードで閲覧する画像のフレームのテーマを設定できます。 ◁/▷/△/▽ ボタンでオプション(None [なし]、X'mas [クリス

マス]、Halloween [ハロウィン]、Clock [クロック]、Valentine's Day [バレンタインデー]、New Year [新年])を選択し、OK ボタンを押して決定します。

アニメーション: 画像にアニメーション効果をつけることができます。◀/▶/▲/▼ ボタンでオプション(None [なし]、Snow [スノー]、Pumpkins [パンプキン]、Heart [ハート]、Fireworks [花火])を選択し、OK ボタンを押して決定します。

バックグランドミュージック: 画像閲覧中のバックグランドミュージックのオン/オフを設定します。

- **オン:** MP3 ファイルの再生が設定できます。フォトフレームは自動的に表示画像を保存しているメディアから音楽ファイルを検索して再生します。再生設定(リピートなど)は音楽モードと同じになります。⏮/⏭ ボタンを押すと、前/次のトラックに移動できます。選択されたメディアに音楽ファイルがない場合、音楽は再生されません。
- **オフ:** バックグランドミュージックをオフにします。

フォトリピートモード: ◀/▶ ボタンを押した場合に表示される画像順を設定します。

- **ノーマル:** すべての画像を順番に表示します。
- **ランダム再生:** すべての画像をランダムに表示します。
- **フォルダ再生:** フォルダ内の画像を順番に表示します。
- **フォルダ内のファイルをランダム再生:** フォルダ内の画像をランダムに表示します。

壁紙として設定: 現在表示している画像をカレンダー/音楽モードの壁紙として使用します。(画像は内蔵メモリにも保存されます。)

ファイルに保存: 現在表示している画像(テーマを含む)を"My Favorites"にコピーできます。フォトフレームはスクリーンの解像度に合うように画像サイズを調節し、新しいファイルとして内蔵メモリに保存します。

メディアの選択: 利用するメディアを切り換えることができます。◀/▶ボタンで利用するメディアを選択して OK ボタンを押します。

■ スライドショーモード

選択したメディアに保存されている閲覧可能なすべての画像をスライドショーで再生します。スライドショーモードはオプションメニューで設定を行います。

C

オプション

サムネイル(一覧) (▦): サムネイル(一覧)モードに移動します。

フォトビュー (▣): フォトビューモードに移動します。

バックグランドミュージック: 画像閲覧中のバックグランドミュージックのオン/オフを設定します。

- **オン:** MP3 ファイルの再生が設定できます。フォトフレームは自動的に表示画像を保存しているメディアから音楽ファイルを検索して再生します。再生設定(リピートなど)は音楽モードと同じになります。⏮/⏭ ボタンを押すと、前/次のトラックに移動できます。選択されたメディアに音楽ファイルがない場合、音楽は再生されません。
- **オフ:** バックグランドミュージックをオフにします。

フォトリピートモード: サブメニューで ◁/▷ ボタンを押して Normal (順番通りに再生)または Random (ランダムに再生)を選択します。

- **ノーマル:** すべての画像を順番に表示します。
- **ランダム再生:** すべての画像をランダムに表示します。
- **フォルダ再生:** フォルダ内の画像を順番に表示します。
- **フォルダ内のファイルをランダム再生:** フォルダ内の画像をランダムに表示します。

スライドショー表示間隔: 1 枚の画像を表示する時間を設定します。サブメニューで ◁/▷/△/▽ ボタンを押してオプション(5 秒/10 秒/30 秒/1 分/10 分/30 分)を選択し、OK ボタンを押して決定します。

スライドショー表示切替効果: スライドが表示される際の効果を設定します。サブメニューで ◁/▷/△/▽ ボタンを押してお好みの効果を選択し、OK ボタンを押して決定します。

テーマ: サブメニューでスライドショーモードまたはフォトビューモードで閲覧する画像のフレームのテーマを設定できます。◁/▷/△/▽ ボタンでオプション(None [なし]、X'mas [クリスマス]、Halloween [ハロウィン]、Clock [クロック]、Valentine's Day [バレンタインデー]、New Year [新年])を選択し、OK ボタンを押して決定します。

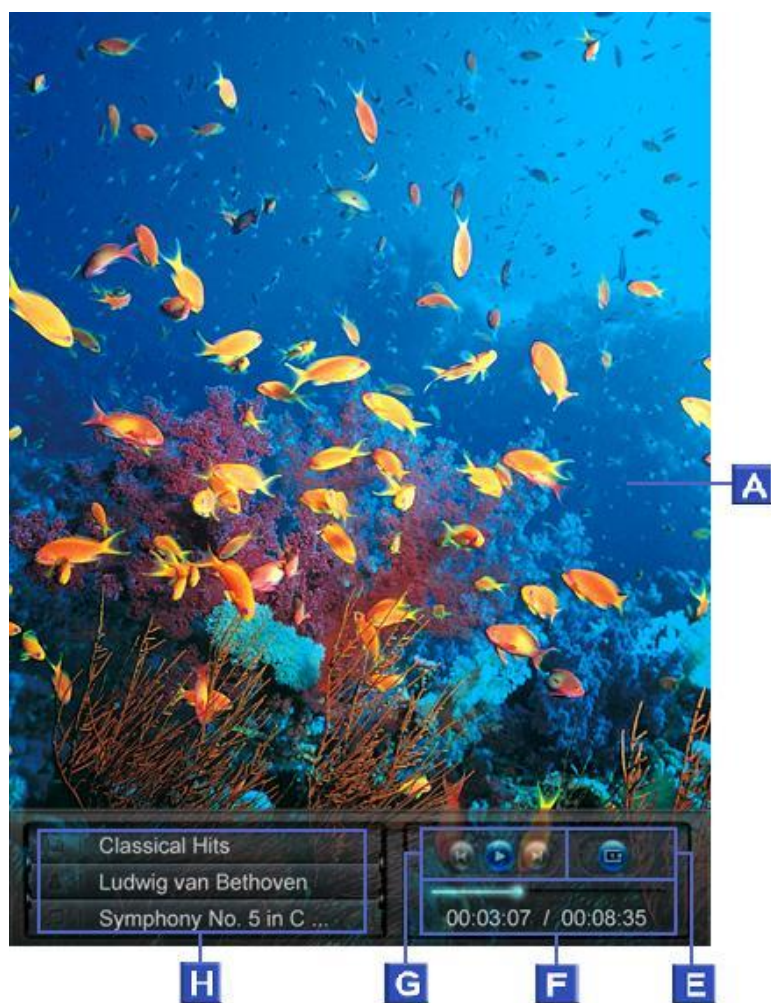
アニメーション: 画像にアニメーション効果をつけることができます。◁/▷/△/▽ ボタンでオプション(None [なし]、Snow [スノー]、Pumpkins [パンプキン]、Heart [ハート]、Fireworks [花火])を選択し、OK ボタンを押して決定します。

メディアの選択: 利用するメディアを切り換えることができます。◁/▷ボタンで利用するメディアを選択して OK ボタンを押します。

音楽 |

音楽プレーヤーは静止画やスライドショーを表示しながら、楽曲の情報に加え、日時と時刻をスクリーン下に表示します。本体背面の MENU / ⏻ ボタンを押して音楽アイコンを選択するかリモコンの ボタンを押すことで表示/非表示を設定できます。

	アイコン	表示
A	画像表示	静止画またはスライドショーを表示します。
B	日付	日付(年月日)を表示します。
C	アラームオン/オフ	アラームをオンにしている場合、アラームアイコンが表示されます。
D	時刻	現在時刻を表示します。(注記: 設定メニューで 12 時間表示を設定した場合に AM/PM は表示されます。)
E	音楽再生モード	ノーマル　1 曲リピート　全曲リピート　ランダム再生　フォルダ再生　フォルダリピート　フォルダランダム
F	曲時間 & 再生時間	曲時間と再生時間(プログレスバー)を表示します。
G	プレイ状態	再生　一時停止　停止　前へ　次へ
H	アルバム/アーティスト/楽曲	アルバム名、アーティスト名、楽曲名を表示します。

音楽プレーヤーの操作方法は下記のとおりです。

1. ボタンを押すと一時停止/再生をします。
2. ボタンを押すと再生を停止します。
3. 音量は本体背面の VOLUME ボタンまたはリモコンの / ボタンで調節します。
4. ボタンを押すと前のファイルに戻り、 ボタンを押すと次のファイルに進みます。
5. MODE ボタンを押すと、リピートモードの切り換えができます。
6. ( ) ボタンを押すと、**プレイリスト**を開くことができ、フォルダやファイルを選択して再生できます。音楽再生は ボタンが押されるまで続きます。

オプション

音楽モードで利用可能なオプションの中には本体操作またはリモコンからしか利用できないものがあります。

1. ボタンを押し、/// ボタンで利用するオプションを選択します。
2. OK ボタンを押すとオプションまたはサブメニューに移動します。

プレイリスト (): オプションメニューから“**Playlist (プレイリスト)**”を選択するか () ボタンを押すとプレイリストが開きます。プレイリストでは特定のフォルダに保存したファイルが閲覧でき、保存先がウィンドウ上部に表示されます。/ ボタンを押してお好みのフォルダを選択し、本体背面の ボタンまたはリモコンの OK ボタンを押すことで下の階層フォルダに移動できます。本体背面の ボタンまたはウィンドウ上部の アイコンを選択することで上の階層フォルダに移動します。ファイルを選択し、 または OK ボタンを押すと再生を行います。ファイルを再生しないでプレイリストを閉じるには ボタンを押し、“Close”を選択するかプレイリストボタン () を押します。

お気に入りの追加/削除 ( ): 使用メディアがメモリカードまたは USB メモリの場合、選択されている音楽をフォトフレームの内蔵メモリにコピーします。内蔵メモリから音楽を削除する場合は閲覧元に“My Favorites (お気に入り)”を選択し、削除するファイルを選んで、“Remove from my favorites (お気に入りから削除)”を選択します。

アラーム音に設定: アラームクロックのアラーム音として選択した楽曲を設定できます。アラーム音は Settings (設定) > Alarm (アラーム) > Alarm Sound (アラーム音の選択)より“Music Alarm (音楽アラーム)”を選択することで設定できます。

リピートモード ( ): リピートモード(Normal [ノーマル]、Repeat one [1 曲リピート]、Repeat all [全曲リピート]、Random [ランダム再生]、Normal in folder [フォルダ再生]、Repeat in folder [フォルダリピート]、Random in folder [フォルダ内のファイルをランダム再生])を設定します。

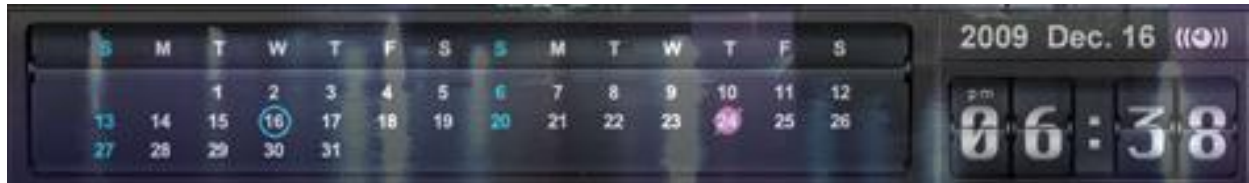
音楽プレーヤーを常に表示: このオプションを選択すると音楽を再生しない場合もフォトビュー/スライドショーモードで常に音楽プレーヤーがスクリーン下に表示されます。また、音楽プレーヤーとカレンダーを同時表示させることはできないため、“Always show Calendar (カレンダーを常に表示)”が設定されている場合はこのオプションを使用できません。

メディアの選択: 利用するメディアを切り換えることができます。 / ボタンで利用するメディアを選択して ボタンを押します。

カレンダー｜

フォトフレームを卓上カレンダー&クロックとして設定します。また、日付をマーキングしたり、お気に入りの画像を表示することができ、スクリーン下にカレンダーと時計を表示します。本体背面の MENU/⏻ ボタンを押してカレンダーアイコンを選択するかリモコンの ボタンを押すことで表示/非表示を設定できます。

日付マーキング: カレンダーの特定の日付をマーキングすることができます。マーキング手順は下記のとおりです。

1. オプションメニューで"Important Dates (日付マーキング)"を選択します。
2. 4 種類のマーキング(ノーマル、誕生日、パーティ、デート)からお好みのものを選択し、OK ボタンを押します。
3. / ボタンを押して年月日を切り換え、 / ボタンでマーキングする日付を設定します。
4. OK ボタンを押すと日付をマーキングします。

週初めの曜日: カレンダー表示での週初めの曜日("Sunday [日曜日]"または"Monday [月曜日]")を設定します。

カレンダーを常に表示: このオプションを選択するとフォトビュー/スライドショーモードで常にカレンダーがスクリーン下に表示されます。また、音楽プレーヤーとカレンダーを同時表示させることはできないため、"Always show Music Player (音楽プレーヤーを常に表示)"が設定されている場合はこのオプションを使用できません。

設定

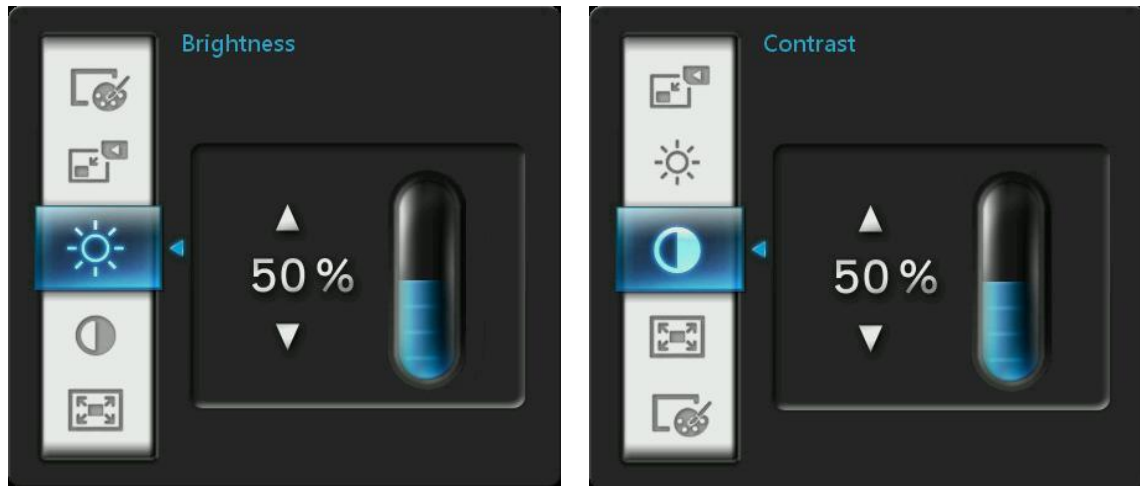
ディスプレイ、日付/時刻、アラーム、言語、自動オン/オフの設定が行えます。本体背面の MENU/⏻ ボタンを押して設定アイコンを選択するか リモコンの ボタンを押すことでアクセスできます。

1. クイックメニューの設定アイコンを選択するかリモコンの ボタンを押します。
2. / ボタンを押して設定する項目を選択します。
3. ボタンを押すと各項目のオプションに移動できます。別項目を選択するには ボタンを押します。
4. /// ボタンを押してオプションを選択します。
5. OK ボタンを押すと設定画面またはサブメニューが開きます。

ディスプレイ

ディスプレイの明るさやコントラストなどが調節できます。

1. 設定メニューで**Display**を選択し、/// ボタンで項目(*Brightness [明るさ]*、*Contrast [コントラスト]*、*Fullscreen [フルスクリーン]*、*Optimize [最適化]*、*Color mode [カラーモード]*)を選択します。
2. OK ボタンを押して設定画面を開きます。(*Brightness*と*Contrast*は変更がすぐに適用されます。)

- **Brightness (明るさ)**: 本体背面の /ボタンまたはリモコンの ボタンを押して調節します。
- Contrast (コントラスト): /ボタンを押して調節します。

- **Fullscreen (フルスクリーン)**: ◀/▶ボタンを押して有効/無効を選択します。無効にした場合、フォトフレームは画像を元サイズのまま表示します。有効にした場合、画像の縦横比を保ったままスクリーンに合わせて表示します。画像のサイズによってはフルスクリーンモードで一部分が表示されないことがあります。

フルスクリーン無効

フルスクリーン有効

- **Optimize My Favorites Image Size (お気に入り画像のサイズを最適化)**: この機能を有効にすると"Add to My Favorites (お気に入りの追加)"を使用したときに、フォトフレームが自動的に画像サイズを800x600にし、内蔵メモリを効果的に使用できます。
- **Color Mode (カラーモード)**: 表示画像のカラーを調節します。◀/▶ボタンを押してカラーモード(*Natural [ナチュラル]*、*Standard [標準]*、*Vivid [鮮明]*)を選択し、OK ボタンを押します。

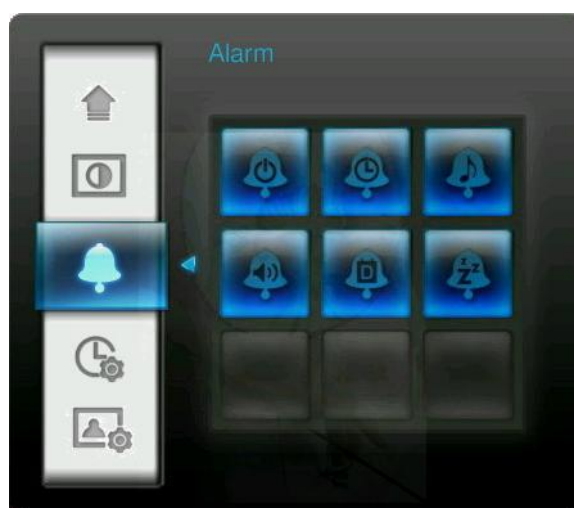
3. OK ボタンを押すと設定を保存します。

注記:

フォトフレームは画像向きの情報(EXIF)に従い、縦横比を保って画像を表示します。スクリーンに合わせて画像を拡大したりすることはありません。画像上下の余白(ブラックバー)をなくす場合はフルスクリーンモードを利用するか、ズーム機能を使用します。フォトフレームの向きに沿って画像は表示されます。

画像タイプ(EXIF)	横向き		縦向き	
フルスクリーンモード ＼ フォトフレーム向き	無効	有効	無効	有効
横置き(A)				
縦置き(B)				

アラーム

フォトフレームをアラームクロックとして設定できます。音楽ファイルもアラームとして設定できます。

1. 設定メニューで**Alarm (アラーム)**を選択し、/ボタンで項目(*Alarm on/off*、*Alarm time*、*Alarm sound*、*Alarm volume*、*Sleep timer*)を選択します。
2. OK ボタンを押して設定画面を開きます。
   - **Alarm on/off (アラームオン/オフ):** アラームの有効(on)または無効(off)を選択します。
   - Alarm time (アラーム時刻): / ボタンで時間/分を切り換え、/ ボタンで値を設定します。
     注記: “24H”/“AM/PM”表示は”12H/24H”で設定します。
     (Settings > Date/Time-> 12H/24H)
   - **Alarm sound (アラーム音):** /// ボタンを押してアラーム音(デフォルト: 5 種類、“Music Alarm”、“Radio Alarm”)を選択します。“Music Alarm”は Set as Music Alarm (Music > Options > Set as Music Alarm)で設定できます。
   - **Alarm volume (アラームの音量):** / ボタンを押して、アラームの音量を調節します。
   - **Alarm Mode (アラームモード):** アラームの使用頻度(Daily [毎日]、Weekdays [週日]、

Weekends [週末]、Once [1 回])を設定します。

- **Sleep timer (スリープタイマー):** ◀/▶/▲/▼ ボタンでフォトフレームをシャットダウンするスリープタイマーを設定します。設定オプションは 15 / 30 / 45 / 60 / 90 / 120 分と無効です。💤 ボタンでもスリープタイマーを設定できます。タイマー設定後に"Press [SLEEP] button on remote to disable (リモコンの[SLEEP]ボタンを押すと無効になります)"メッセージが表示されます。

  注記: 自動オン/オフ機能ではフォトフレームを日付単位で自動的にオン/オフさせることができます。

  (Settings > Date / Time > Auto ON/OFF)

3. OK ボタンを押すと設定を保存します。

日付 / 時刻

日付と時刻の設定ができます。自動オン/オフのタイマー設定を行うことで夜間など使用しない時間帯に節電することができます。

1. 設定メニューで**Date/Time**を選択し、◀/▶/▲/▼ ボタンで項目(*Current Date*、*Current Time*、*12H/24H*、*Auto-on*、*Auto-off*、*Auto-on/off timer*)を選択します。
2. OK ボタンを押して設定画面を開きます。

- **Current Date (日付)**: ◀/▶ ボタンで年/月/日を切り換え、▲/▼ ボタンで値を設定します。
- **Current Time (時刻)**: ◀/▶ ボタンで時間/分を切り換え、▲/▼ ボタンで値を設定します。

- **12H / 24H**: ◀/▶ ボタンを押して表示形式(*12-Hour* [AM/PM]または*24-Hour*)を選択します。この設定はすべての時刻表示(Alarm、System time、Auto-on/off)に反映されます。
- **Auto On at (自動オン時刻)**: 毎日の自動オンタイマーの設定ができます。◀/▶ ボタンで時間/分を切り換え、▲/▼ ボタンで値を設定します。
- **Auto Off at (自動オフ時刻)**: 毎日の自動オフタイマーの設定ができます。◀/▶ ボタンで時間/分を切り換え、▲/▼ ボタンで値を設定します。
- **Auto On/Off timer (自動オン/オフタイマー)**: ◀/▶ ボタンを押して自動オン/オフ機能の有効/無効を設定します。

3. OK ボタンを押すと設定を保存します。

スタートアップモード

フォトフレーム起動時のモード(スライドショー、フォトビュー、動画)を設定することができます。

1. 設定メニューの**Startup mode (スタートアップモード)**を選択します。
2. ◀/▶ ボタンを押してモード(スライドショー、フォトビュー、動画)を選択します。
3. OK を押して設定します。

言語

フォトフレームの表示言語(13 ヶ国語が利用可能)が設定できます。

下記の手順に沿って言語の変更を行います。

1. 設定メニューの**Language (言語)**を選択します。
2. ◀/▶/▲/▼ ボタンを押してお好みの言語を選択します。
3. OK を押して設定します。設定はすぐに反映されます。

設定の初期化

フォトフレームの設定を初期化します。
注記: すべての設定がリセットされますのでご注意ください。

1. 設定メニューで**Restore defaults**を選択します。
2. ◀/▶ ボタンで"Yes"を選択します。
3. OK ボタンを押すと初期化を開始します。
4. 初期化が完了すると、設定メニューが表示されます。

ファームウェアの更新

フォトフレームを最新の状態にアップグレードします。(最新のファームウェアは弊社ウェブサイトで確認・ダウンロードできます。)

1. 最新バージョンのファームウェアを保存したメモリカード(SD/SDHC)をフォトフレームに挿し込

みます。

2. 設定メニューで**Firmware upgrade (ファームウェアの更新)**を選択して OK ボタンを押すとファームウェアの検索が始まり、フォトフレームは自動的に最新ファームウェアファイルを確認します。
3. フォトフレームが利用可能な最新ファームウェアを確認すると、“Yes / No”選択メッセージが表示されます。 ◀/▶ ボタンで“Yes”を選択し、 OK ボタンを押すとシステムのアップグレードを開始します。“No”を選択すると設定メニューに戻ります。

注記: ファームウェアの更新中にメディアを取り外さないでください。アップデートに失敗し、電源オンができなくなった場合はカスタマーサポートまでご連絡ください。

トラブルシューティング｜

もし問題が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかったときは、販売店、サービスセンターまたは現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでも FAQ とサポート情報を公開しております。

フォトフレームの電源がオンにできません

リモコンの電池が切れてないか確認してください。フォトフレーム背面の電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は電源アダプタが本体とコンセントに正しく接続されているか確認してください。

OSがフォトフレームを認識しません

下記の項目をチェックしてください。

1. フォトフレームが正しくUSBポートに接続されていますか。接続されていない場合は、ユーザーマニュアルを参照して一度取り外してから再度接続してください。
2. フォトフレームがMacキーボードに接続されていませんか。接続されている場合は、キーボードから取り外してMacデスクトップ本体のUSBポートに接続してください。
3. そのUSBポートは利用可能ですか。利用可能でない場合は、ご使用のコンピュータ(またはマザーボード)のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。

フォトフレームの操作ボタンが反応しません

フォトフレームから一度電源アダプタを外して、再度接続してみてください。

フォトフレームをコンピュータに接続しましたがドライブが表示されません

電源アダプタをフォトフレームに接続し、フォトフレームの電源をオンにしてからコンピュータに接続してください。また、ご使用の OS がフォトフレームに対応しているか確認してください。

フォトフレームがメモリカード/内蔵メモリの画像を読み出すことができません

1. ご利用のメモリカードがフォトフレームに対応しているか確認してください。
2. メモリカードが適切なカードスロットに正しく挿入されているか確認してください。
3. 編集された画像等はフォトフレームで正しく表示されない場合があります。また、デジタルカメラの中には標準ではないフォーマットで画像を保存するものもありますのでご使用のカメラのマニュアルで仕様を確認してください。

フォトフレームで動画を表示できません

フォトフレームは特定の動画フォーマットしか再生することができません。弊社ウェブサイトの FAQ で紹介している方法で動画ファイルの変換をお試しください。

フォトフレームで USB メモリ/メモリカードのファイルを削除できますか

フォトフレーム上で USB メモリやメモリカードのファイルを削除することはできません。但し、メディアを取り付けたままコンピュータに接続することで、PC 上で削除することはできます。

電源アダプタを取り外すと日付/時刻設定がリセットされます

フォトフレームを長時間接続していないと、バックアップバッテリーを使い果たし、日付/時刻情報を保存しておくことができなくなります。バックアップバッテリーは約 2、3 日でなくなりますが、その期間内に電源アダプタを再接続すれば情報はリセットされません。

仕様｜

パネル:	8 インチ(4:3) TFT液晶、800x600 ピクセル
スピーカー:	0.5W スピーカー
USB インターフェイス:	USB ポート(x1)、ミニ USB ポート(x1)
内蔵メモリ:	2GB NAND フラッシュ
データ保持期間:	最大 10 年
操作ユニット:	ナビゲーションボタン(x8、背面)とリモコン
リモコン:	赤外線、NEC プロトコル
サイズ:	212mm x 172mm x 39mm
供給電源:	入力: 100V~ 240V 0.3A、出力: 5V DC 2.0A
動作環境温度:	0ºC (32ºF) ~ 40ºC (104ºF)
画像フォーマット:	DSC JPEG (最大 9000 x 6750)
動画フォーマット:	Motion JPEG (AVI & MOV; 最大 720x480 @ 30FPS)
音楽フォーマット:	MP3、WMA (DRM 非対応)、WAV
対応ビットレート:	32Kbps–320Kbps (MP3) 32Kbps–192Kbps (WMA)
認証:	CE、FCC、BSMI
保証:	パネル: 1年 本体: 2 年

ご注文情報｜

Device Description	Memory Size	Transcend P/N
PF830 – White	2GB	TS2GPF830W
PF830 – Black	2GB	TS2GPF830B
PF830 – White (Japan version)	2GB	TS2GPF830W-J
PF830 – Black (Japan version)	2GB	TS2GPF830B-J

リサイクルと環境への配慮｜

製品のリサイクル(WEEE): 本製品はリサイクルまたは再使用が可能な高品質の部材を使用して設計および製造されています。車輪付きゴミ箱にバツ印の入ったマークはWEEE指令対象製品であることを示しています。

電気・電子機器を廃棄する際には、販売店による引取りなど、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、古くなった製品は適切な方法で廃棄するようにしてください。

バッテリーの廃棄: このマークはEU新電池指令(2006/66/EC)に該当する充電式バッテリーを内蔵している製品に表示されており、適切な方法で廃棄する必要があります。

バッテリーを廃棄する際には、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、バッテリーは適切な方法で廃棄するようにしてください。

取替え不可なバッテリーが内蔵されている製品についてはバッテリーを取り外す(または取り外そうとする)と保証が無効となります。製品を廃棄する際に取り外して適切に廃棄してください。

保証規定｜

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドのフォトフレームが、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンドのフォトフレームの保証は、購入日から2年間有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

液晶のドット抜け: 購入日から1年以内であれば液晶搭載製品の交換・修理をいたします。液晶のドット保証は有効画素数99.99%となります。

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドのフォトフレームは業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任は負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。

おねがい

- 故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。弊社より返送時は弊社負担ですがご送付いただく際は送料をご負担ください。
- 本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。
- 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問い合わせください。

保証サービスを円滑に行うために、購入日から 30 日以内に製品登録を行ってください。

http://www.transcend.co.jp/TsClub/RegProduct.asp

❖ ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

Transcend Information, Inc.

www.transcend.co.jp